

## ■水害ハザードマップ改訂事業について

### 【目的】

本事業は、水防法の改正に伴い国・県が行う「想定し得る最大規模の洪水浸水想定区域」への見直しを考慮した避難場所や避難経路等の指定・見直し及び早期の立退き避難が必要な区域について、学識経験者からなる「郡山市総合治水対策連絡協議会」及び庁内委員会である「郡山市浸水対策調整会議」において検討・協議を行うとともに、住民説明会等により住民意見を取り入れながら水害ハザードマップの改訂を行うものである。

根拠法令：水防法第 15 条第 3 項

### 【対象河川の浸水想定の特元】

区 分	対象河川名 (区間)	想定雨量 (想定最大規模降雨)	浸水想定区域の指定
洪水予報河川	阿武隈川及び笹原川 (国管理:洪水予報区間)	2 日間総雨量 323mm (旧 2 日雨量 256 mm)	H28 年 6 月 30 日
水位周知河川	逢瀬川 (県管理:水位周知区間と阿武隈川合流点までの区間)	2 日間総雨量 335mm (旧雨量 1 日 180 mm)	H30 年 7 月 31 日

◎浸水想定区域面積が 19 km<sup>2</sup>から 24 km<sup>2</sup> (約 1.3 倍) に拡大

### 【水害ハザードマップ改訂スケジュール】

令和元年度

- 5 月 30 日 水害ハザードマップ改訂業務委託発注
- 5 月 31 日 郡山市浸水対策調整会議 (庁内)
- 8 月 5 日 郡山市総合治水対策連絡協議会 (庁外)
- 9 月 3 日 住民説明会の開催 (日和田、田村、富久山、安積、中央地区)
- ~12 日 計 5 回 参加人数 119 名
- 11 月 台風合 19 号浸水エリアの調査・確認

令和 2 年

- 1 月 庁内・庁外協議会及び関係機関等への照会
- 2 月 原案の作成
- 3 月 ウェブサイト等での公表

### 【台風第 19 号に係る見直しについて】

10 月 12 日~13 日の台風第 19 号の甚大な浸水被害を踏まえて、国・県が公表した想定最大規模の洪水浸水想定区域 (1000 年に 1 度) に加えて、今回の浸水範囲の表示や、河川の越水、決壊箇所の追加や、関係機関との再協議等を行い、より住民にわかりやすいハザードマップを作成していく。